



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 19 2016.11.30 (No.2892)

基本を学び、地域と共に

第2560地区ガバナー／田中政春
 会長／川瀬康裕
 会長エレクト／小出子恵出 (クラブ奉仕A)
 副会長／松永一義 (クラブ奉仕B)
 幹事／関川博
 S A A／明田川賢一
 会計／浅野金治

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:55名中40名
- 先々週出席率:84.91%

【先週のメークアップ】

〔11.19〕一ノ木戸ポプラ公園
植樹および贈呈式へ

- ・ 明田川賢一さん、五十嵐晋三さん、
- ・ 衛藤泰男さん、江部卓城さん、
- ・ 荻根澤隆雄さん、小越憲泰さん、
- ・ 川瀬康裕さん、木村文夫さん、
- ・ 熊倉昌平さん、小出子恵出さん、
- ・ 近藤雄介さん、斎藤弘文さん、
- ・ 斎藤真澄さん、杉山幸英さん、
- ・ 関川博さん、中條克俊さん、
- ・ 中村和彦さん、中村信一さん、
- ・ 松永一義さん、丸山行彦さん、
- ・ 柳取崇之さん、山田富義さん、
- ・ 吉井直樹さん、若槻八十彦さん、
- ・ 渡辺良一さん (25名)

〔11.21〕三條南RCへ

- ・ 加藤紋次郎さん、五十嵐昭一さん、
- ・ 木村文夫さん、丸山行彦さん

〔11.22〕三條北RCへ

- ・ 阿部吉弘さん、中村和彦さん、
- ・ 五十嵐昭一さん、斎藤弘文さん、
- ・ 加藤紋次郎さん、小越憲泰さん、
- ・ 丸山行彦さん

〔11.25〕三條ローターアクトへ

- ・ 衛藤泰男さん

〔11.28〕三條南RCへ

- ・ 加藤紋次郎さん、石橋育於さん、
- ・ 斎藤弘文さん、木村文夫さん、
- ・ 山田富義さん

〔11.29〕三條北RCへ

- ・ 石橋育於さん、斎藤弘文さん、
- ・ 五十嵐晋三さん、丸山行彦さん、
- ・ 菊池涉さん、五十嵐昭一さん、
- ・ 加藤紋次郎さん



会長挨拶

川瀬康裕 会長



先週の土曜日、新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科分野の小野寺理先生の教授就任祝賀会がホテルオークラで開催され参加してきました。

新潟大学医学部は明治43年(1910年)医学専門学校として始まり、数年前に100周年を迎えております。脳神経系の診療科の歴史としては、昭和32年(1957年)医学

部付属脳外科研究施設が設置され、脳外科研究所として初代中田瑞穂教授が就任されました。これが脳研究所の始まりです。中田瑞穂先生は日本の脳外科の父とされてご出身の島根県の津和野に碑が建立されています。「学問の静かに雪の降るは好き」みづほ先生の句碑は脳研究所近くに設置されています。昭和40年(1965年)に東京大学医学部脳研究施設助教授の椿忠夫氏が初代教授として任命されました。新潟大学神経内科教室は東京大学、九州大学と相前後して始まりました。昭和42年、脳研究所が新潟大学に設置されました。新潟の脳研究所は日本ではただ一か所、大学附置施設で医学部の付属施設ではありません。

神経内科教室はその後、2代目宮武正、3代目辻省次、4代目西澤正豊教授と4人の東大出身の教授でした。椿教授は日本で都立神経病院長として赴任され、宮武教授は東京医科歯科大学教授に、辻教授は東京大学教授に転出されました。今回初めて新潟大学出身の教授が誕生しました。神経内科教室

は、初代の椿教授により新潟水俣病の存在が明らかにされ、患者調査、水銀量の定量、汚染の疫学調査がされました。

その後スモン病 subacute myelo-optico-neuropathy (亜急性脊髄視神経症)の原因を追求しキノホルム中毒であることをあきらかにするなど社会に貢献する研究をされました。一方椿教授のあとを継いだ教授は神経化学、分子生物学の手法を使い遺伝性アルツハイマー病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病の原因究明や脳卒中の治療薬の開発など世界的な先端研究の実績をあげられました。

私は初代椿教授のもとで指導をうけました。最近の分子生物学の進歩には私もなかなかついて行くことができません。同窓会員と現役の教室員の合同研究会などで話を聞いてもチンプンカンプンです。アルツハイマー病の原因究明と根本治療法はこれからの若い神経内科医にお願いして、私は最前線での認知症に対する治療効果を明らかにするために画像と認知機能テストなどのデータベースを新しく作ることができました。治療効果を見て行きたいと思います。

幹事報告

関川 博 幹事

◎田中ガバナー事務所より

「12月ロータリーレートのご案内」

12月1日より 1ドル=106円 (現行102円)

◎三条RACより

「12月第二例会のご案内」

日 時 12月16日(金) 19:30~21:00

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

※ローターアクトクラブの例会参加はメイクアップ扱いです。ぜひご参加ください。

◎先日行われた植樹のお礼状が三条市長より届きました。

◎次週 12月7日(水)の例会は、年次総会です。

ニコニコBOX

川瀬康裕会長

先週、新大脳研神経内科教室の新しい(祝賀会)教授の就任式がありました。参加してきました。

斎藤弘文さん

有志の方々より心あたたまる慰労の会を開催していただき感謝しております。これからも宜しくお願い致します。

成田秀雄さん

今日は私のつたない卓話を聞いていただきませす。題目はロータリー財団についてです。よろしくお祈いします。

関川 博さん

昨日、二名の新入会員内諾をいただきました。山田増強委員長、石黒会員ありがとうございます。本日は成田ロータリー財団委員長、卓話よろしくお祈いします。

丸山行彦さん

斎藤弘文さんの退任慰労会に多数の方々から参加いただきましてありがとうございました。成田さん卓話ご苦労様です。

杉山幸英さん

先日の植樹に多数の参加を戴きまして有難う御座居ました。成田さん、卓話有難う御座居ます。

五十嵐昭一さん

大変寒くなって来ましたが未だ雪が降っておりません。早く来い来い、冬の雪か、暖かい冬の日か、いろいろ難しいところです。

樺山 仁さん

いよいよ冬のお出ましです。インフルエンザに気をつけましょう。本日久し振りの成田会員の卓話で楽しみです。

小林吾郎さん

日赤に脳ドックを受診に行って来ました。もうそんな年齢です。

江部卓城さん

寒くなりました。みなさまにはカゼなどひかれませんようお体にご自愛下されますように。

吉井直樹さん

カレンダーもあと一枚になりました。なんとか年を越せそうです。本日成田さん、宜しくお願いします。

渡辺勝利さん

お天気に恵まれました。成田さんご苦労様です。

五十嵐晋三さん

明日から師走です。成田さんご苦労様です。

伊藤寛一さん

11月も終わり、いよいよ師走。本当に一年が早いです。

成田さんご苦労様です。

衛藤泰男さん

本日もよろしくお祈りします。

小林敬典さん、小出子恵出さん、高橋 司さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

渡辺良一さん、中村信一さん、明田川賢一さん、

斎藤真澄さん、小越憲泰さん、米山智哉さん、

木村文夫さん、松永一義さん、荻根澤隆雄さん、

宮本信秋さん、歸山 肇さん、石黒良行さん、

若槻八十彦さん、渋谷健一さん

成田秀雄会員、本日はロータリー財団月間卓話ありがとうございます。

11月30日分 ￥ 42,000

今年度累計 ￥ 856,000

12月のお祝い

◎会員誕生祝

16日 加賀美匡さん

23日 太田寿三さん

◎夫人誕生祝

1日 若槻由美子さん (八十彦さん)

5日 中村玲子さん (信一さん)

17日 柳取 恵さん (崇之さん)

18日 荻根澤愛子さん (隆雄さん)

18日 菊池まゆみさん (渉さん)

20日 小林 幸さん (吾郎さん)

◎結婚記念祝

9日 杉山幸英さん (敏子さん)

◎100%出席賞

10年 若槻八十彦さん

5年 関川 博さん

5年 吉井直樹さん



「卓話」

「ロータリー財団月間」

ロータリー財団委員長

成田 秀雄 会員



1917年、アーチ C. クランフRI元会長が「世界でよいことをするための」基金の設置を提案しました。この基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリーに組み込まれ、現在のロータリー財団に至っています。

今年度は、「世界でよいこと」を続けてきた財団が100周年を迎える年です。歴史的な節目となるこの年度、ロータリー財団では、年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金への寄付の合計目標を3億ドルとしました。きれいな水、疾病との闘い、貧困の緩和、平和の推進、基本的教育の推進、地域社会の経済的発展などに、この寄付は活用されていきます。

世界120万人のロータリアン寄付は2014-15年度、年次基金に1億2300万ドルの寄付が寄せられ、ロータリーの人道的、教育文化交流プログラムを通じ世界理解と平和達成に貢献しております。またポリオプラス基金に2900万ドル、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せ寄付を合わせて9800万ドルをポリオ撲滅活動に充てることになりました。

ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

より良い地域づくりのための活動やグローバルなイニシアチブを資金面で支えているのが、ロータリー財団です。クラブや地区に補助金を提供しているほか、ポリオの撲滅や平和の推進といったグローバルなキャンペーンを展開しています。こうした活動や補助金を実現させているのが、皆さまからロータリー財団へのご寄付であると国際ロータリーのホームページに掲載されております。

1. ロータリー財団の提供する補助金は地区補助金とグローバル補助金の2種類です。

(1) 地区補助金 (District Grants→DG)

地区補助金は、財団の使命に当てはまる活動を支援するために、年に1度、財団から地区に一括して支払われる補助金です。これはロータリアンがプロジェクトに柔軟に活用できる補助金であり、すべて地区財団活動資金 (District Designated Fund→DDF) によって賄われます。

具体的には、地元や海外で行う1年以内に終

了する短期の活動に活用する補助金です。財団の使命と一致するプロジェクト、地区奨学生への奨学金などに使用できます。

これはクラブの社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕・青少年奉仕活動に対応します。

昨年度は長岡ロータリーの絵本ライブ、糸魚川の新日本フィルハーモニーアンサンブル演奏会など19のプロジェクトがありました

また地区奨学金としてグローバル奨学生に該当しない奨学生に対して海外の大学。大学院での1年までの就学の金銭的支援が行われます。今年度は2560地区奨学生として 児玉さん、鎌田さんが留学しております。ご存知のように児玉さんは三条クラブがスポンサーで現在ドイツのドレスデン音楽大学へ留学し音楽学を学んでいらっしゃいます。

(2) グローバル補助金 (Global Grants→GG)

大規模な影響をもたらす国際的活動を支援します。地域社会のニーズに取り組み、クラブと地域の人が積極的に参加すること、またロータリーの6つの重点分野において、持続可能かつ測定可能な成果を挙げることが条件です。特に、活動を終えた後も末永く地域社会に恩恵を残すような「持続可能な」活動であることは重要な要件とされています。

ロータリーの6つの重点分野は次です。

1. 平和と紛争予防
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基礎教育と識字率向上
6. 経済開発と地域開発

グローバル補助金では国際財団活動資金 (World Fund→WF) より、各クラブからの現金拠出に対してはその半額、地区財団活動資金 (DDF) からの拠出に対して同額が上乘せされます。プロジェクトの予算は少なくとも30,000ドルであることが条件となり国際財団活動資金からの上乗せの下限額は15,000ドルです。

実際の具体例として、山本年度に2560地区内5クラブとホノルルサンライズRC、他タイ、ハワイ地区の合計22RCと3地区の共同プロジェクトで行われたタイ国「慢性腎臓病を防ぐ教育プログラムと保健インフラ整備」事業では、2560地区内5クラブから5,000ドルの現金拠出、国際財団活動資金から半額の2500ドルの拠出、2560地区グローバル補助金から9,700ドル、国際財団活動資金から同額の9,700ドルの拠出、合計26,900ドルが拠出されました。これにホノルルサンライズRC他の拠出金総計110,885.5ドル

で事業が実施されました。

これは実施国タイのシーロムRCと援助国側のホノルルサンライズRCが提唱者となり、ホノルルサンライズRCの姉妹クラブである新潟万代RCが誘われ2560地区の他のクラブにも参加を呼びかけたものです。

上記を含めグローバル補助金を利用した活動を紹介します。

山本年度は

人道的プロジェクトとして

タイ国「慢性腎臓病を防ぐ教育プログラムと保健インフラ整備」韓国「障害者職業開発と雇用拡大のための職業リハビリテーション支援事業」を行いました。

また奨学金としても使用できます。

6つの重点分野のいずれかに該当する分野で1-2年の海外の大学院レベルの教育を受ける金銭的支援が該当します。地区奨学金よりずいぶんとハードルが高くなっております。

ほかに職業研修として、職業に関連する技術を学んだり、特定の分野において現地の人々を指導したりする目的で、専門職に携わる人々からなる職業研修チームを海外に派遣するためにも使用できます。

2. 地区財団活動資金 (DDF) について。

ロータリー財団への寄付は、補助金に生まれ変わって人々の生活向上や地域社会の発展のために生かされます。今年の年次基金への寄付は1人150ドルが依頼されております。

資金は3年の投資期間を経た後に使用されます。2016-2017年度の田中年度で使用できる年次基金は2013-2014年度の山崎年度の基金です。

他に恒久基金があります。

これは元金 (寄付金) は一切使用されず、その投資収益の一部のみが補助金やプログラムに使われず。恒久基金への寄付者に対し、大口寄贈者、遺贈友の会会員、ベネファクターといった特別な認証を設けています。

これらの基金は次の2つの資金に分けられます。

- ・50%が国際財団活動資金 (WF) へ
(その用途はロータリー財団管理委員会が決めます)
- ・50%が地区財団活動資金 (DDF) へ

国際財団活動資金は、世界の全地区が参加できる財団プログラムや補助金に活用されます。地区財団活動資金は、地区が選んだ財団プログラムや補助金に活用されます。

山崎年度の年次基金の寄付実績に恒久基金の運用益を加えたものが国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に半分ずつ分割されます。これに前年度未使用金と前年度地区補助金の返還金を加えたものが今年度地区財団活動資金(DDF)の総額になります。

この中で地区補助金として使えるものは地区に配分される年次基金+恒久基金運用益の半分です。年次基金+恒久基金運用益の総額の1/4になります。残りの地区財団活動資金(DDF)はグローバル補助金(GG)とロータリー平和センター(世界6か国著名7大学に設置された平和構築とスキルを養い平和の担い手となる人材を育てる組織)への寄贈、ポリオプラスへの寄贈に使われます。

以上がロータリー財団の年次基金、恒久基金を基

にした地区補助金およびグローバル補助金の活用のされ方と配分原理です。

3. ポリオプラス基金について。

ロータリーの最優先活動である世界ポリオ撲滅に取り組むのがポリオプラスです。これまで会員の募金活動により10億ドルが集められ、予防接種などの活動に寄与してきました。

しかし残るポリオ常在国ですべての子供たちに予防接種を行うには、まだ資金が不足しています。ポリオプラス基金は、ポリオ予防接種や監視活動を支えており、この基金への寄付が奨励されています。本日、ポリオプラス寄付の箱を廻していただき、何卒よろしくお願い致します。

三条ロータリークラブ創立60周年記念社会奉仕事業 一ノ木戸・ポプラ公園、島田・若草公園、条南・あおば公園「植樹および贈呈式」

関根 博 幹事

10月8日に行われました三條市子育て拠点施設「あそぼって」への遊具、図書の寄贈及び子供達への読み聞かせの会は子供達から「ロータリー先生」と命名され、リクエストをいただくほど大好評でした。図書は、施設がロータリー精神を理解され更に発展するよう「あおぞら・おひさま文庫」と命名され子供達とのふれあいの場所となっております。

そして、11月19日創立60周年記念事業第二弾として、「一ノ木戸・ポプラ公園」「島田・若草公園」「条南・あおば公園」へ植樹とお花のプレゼント。現在当クラブ会員数は55名ですので、3公園に合計55本の樹木を寄贈しました。

川瀬会長は常々ロータリー精神の中でも多様性を重要視されており、共に成長していくという思いを込めて、サトザクラ・ヤマザクラ・ソメイヨシノ・ナツツバキ・イロハモミジ・マテバシイなど多様性に富んだ27種類にわたる当地方の里山の木々をセレクト。雨にも関わらず、子供達も参加して賑やかな植樹となりました。プレゼントで用意した100鉢のお花もあっという間になくなり大盛況でした。

季節柄、冷たい雨でしたが会員はみなさん笑顔でした。その笑顔が、子供達を呼び寄せたのだと思います。単純に物を贈るだけではなく、一緒に泥だらけになって、笑顔で触れ合う。それがロータリーの社会奉仕なのだと思いが熱くなった1日でした。



Merry
Christmas

三条ロータリークラブ夜例会

「ファミリー クリスマスパーティー」

日時 2016年 **12月21日(水)** 受付 18:00~
開会 18:30~

会場 ジオ・ワールドVIP スクエア (Tel 35-1143)

会費 **メンバー 5,000円 / ご同伴者(ご夫人含む) 3,000円**
お子様 無料

当日はプレゼント交換を行います。
会員およびご同伴の皆様は1,000円程度のプレゼントを
お一つずつご用意ください。
(お子様のプレゼントは親睦委員会で用意致します。)



次週例会 12月14日 「会員卓話」 斎藤弘文 会員

次々週例会 12月21日 夜例会「ファミリークリスマスパーティー」
18:30~ 於 ジオ・ワールドVIP

